

花き振興センターを新設！

山口県花き振興センターは、花きの生産振興の総合拠点として平成18年4月1日に柳井市の「やまぐちフラワーランド」の隣に新設されました。

ここでは、花きの生産者を目指す担い手や生産者に対する研修を始め、新品種・新技術等の実証展示を行っています。

さらに、花き産地、生産技術、流通、経営、消費など、花き全般に関する情報の収集、提供を行うことにより、山口県の花き生産の振興を図ることとしています。



当センターでは13棟の施設で、新品種の特性把握やより現地に近い形での実証など、約600品種の花きの試験栽培を行っています。

また、隣接する「やまぐちフラワーランド」の温室や花壇にも展示を行い、広く意見をいただくとともに、花の特性や利用の方法等の紹介も行っています。

このように、ここでは、「やまぐちフラワーランド」と連携しながら、花のある生活を普及するための活動を行います。

<主な内容>

◇シリーズ 伝統野菜の紹介

『地這いきゅうり』，『山口甲高玉葱』 ～育種開発部・栽培技術部～

◇こんな研究をしています！ ～企画普及部 農村計画グループ～

『地下かんがい新技術の紹介』

◇営農計画シミュレーションシステム公開中！ ～企画普及部 企画情報班～

◇『トマト黄化葉巻病』の特徴と発生状況 ～病害虫部～

◇大島柑きつ試験場に普及指導員を配置 ～大島柑きつ試験場～

シリーズ！ 伝統野菜の紹介

(じ ば い)

地這いきゅうり



やや酸味のある味と歯切れの良さが特長で、なますや煮物にして食べられています。

自家採種が繰り返され、形質がばらついてきたため、生産者と一緒によりよい形質のものを選抜する取り組みを開始しました。

岩国市錦町など県東部の山間で栽培されているキュウリです。大きさが800g前後になった頃が収穫適期です。もぎ忘れて大きくなったのではありません。



(やまぐちこうだかたまねぎ)

山口甲高玉葱



山口甲高玉葱

山口市秋穂二島の中村亀吉さんが昭和の初めに育成した品種です。この品種ができたことで、山口県でタマネギが安定して栽培できるようになりました。

形や貯蔵性、味などに優れた点があり、現在栽培されている多くのF1品種（ターザン、もみじ3号）の親として利用され、これらのF1品種に取って変わられていました。

このたび、山口オリジナルの品種として、復活の取り組みを始めました。

こんな研究をしています！

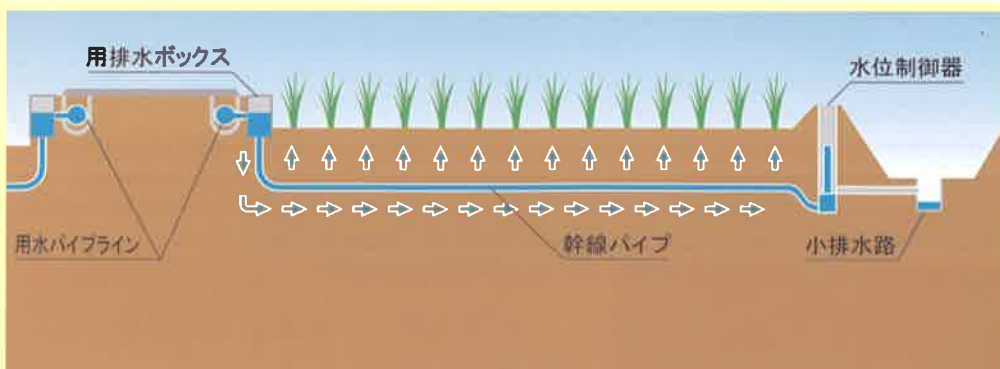
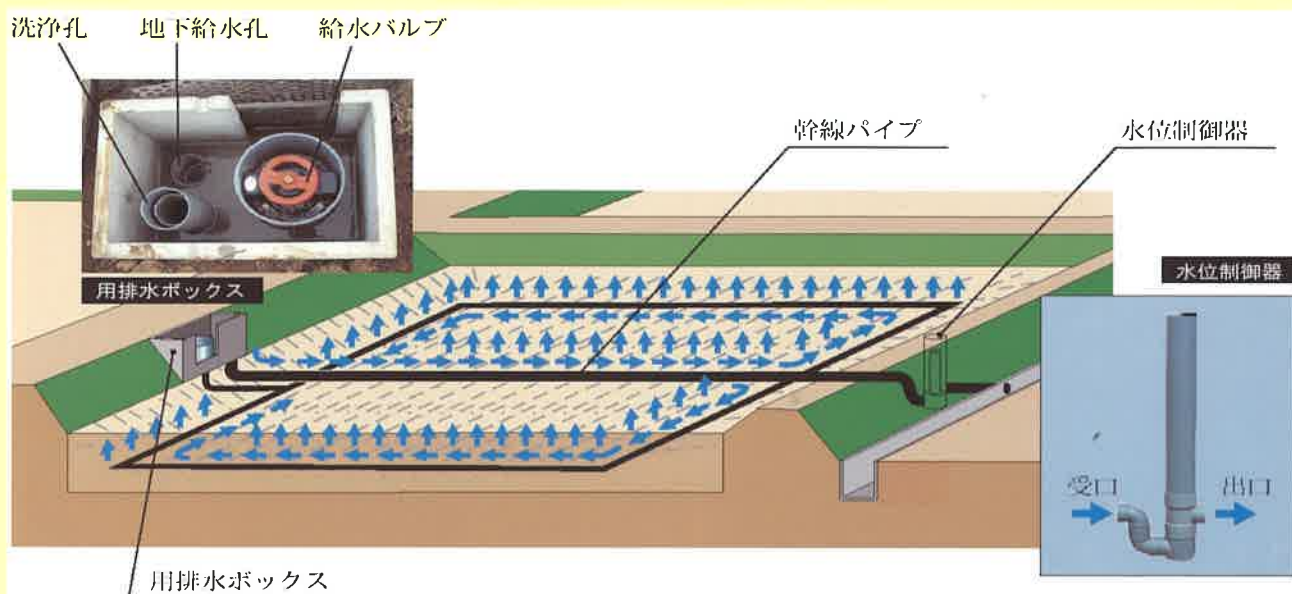
～ 企画普及部 農村計画グループ ～

「地下かんがい」新技術の紹介

地下かんがいシステム「F O E A S (フォアス)」は、ほ場内に埋設したパイプなどを通して水を自動的に供給・排水するシステムで、(独)農村工学研究所と(株)パディ研究所が共同で開発したものです。

ほ場内水位を地下30cmから地上20cmの範囲で設定すれば、自動的に水位が保たれるので、水管理を省力化することが期待できます。豪雨時などには暗渠として、干ばつの際には灌水装置として、湿害と干ばつの両方に対処できます。

県内では、今年から山口市秋穂二島、長門市日置において試験的な取り組みが行われており、農業試験場では、稲作・畑作を行う際のシステムの機能・効果を確認していきます。



[研究内容の詳細な内容を御希望の方は農業試験場まで御連絡ください。]

営農計画シミュレーションシステム公開中!

山口県営農計画シミュレーションシステム

● 作物、技術体系、面積を選択してください。

作物選択	技術体系	面積
☒		
☒		
☒		

● 農作業時間を入力してください。

経営主	時間

● 雇用労賃を入力してください。

雇用労賃	円/時

山口県農林業情報システムホームページでは、web上で営農計画をシミュレーションできるシステムを公開しています。

簡単な操作で利用できますので、経営計画作成や経営改善の検討などの場面に、積極的に活用してください。

<http://sim.nourin.pref.yamaguchi.lg.jp/gfs/fs35gnoptin.php>

～新しい病害虫が発生！～
「トマト黄化葉巻病」の特徴と発生状況

「トマト黄化葉巻病」は、「トマト黄化葉巻ウイルス」によって引き起こされる世界的に見ても最も被害が大きいトマトのウイルス病です。本県では本年1月に旧下関市において初発生が確認されました。

トマトがこのウイルスに感染すると、葉や茎に「写真1」の様な症状を生じ、果実が成らなくなることが多くなるため、大きく減収します。

このウイルスは、体長1mm程度の「タバココナジラミ」類（写真2）によって媒介され、1匹でもウイルスを持っていると感染が拡大する可能性があります。

そのため、未発生地域でもコナジラミの防除対策が取られた苗以外は購入しない、ウイルスの感染が疑われる苗は厳重に処分するなどの対策を取る必要があります。

農業試験場では発生の拡大を警戒していますが、7月末現在、旧下関市以外での発生は確認していません。

未発生地域で疑わしい症状が認められた場合は、ウイルスを確認するとともに、詳しい対策をお知らせしますので、直ちに農林事務所、農業試験場、病害虫防除所などへ連絡をお願いします。



写真1 生長点付近の黄化、巻葉、萎縮症状



写真2 タバココナジラミ類の成虫（左）と蛹（右）

大島柑きつ試験場に普及指導員を配置



平成18年4月、大島柑きつ試験場に企画普及担当の農業普及指導員2名が配置されました。

主に県オリジナルカンキツ「せとみ（商標名；ゆめほっぺ）」の主力産地化を推進するとともに樹別交互結実法などの高度技術普及や先進農家への経営指導、実証ほ設置による調査研究活動を行います。

（連絡先：0820-77-1031(父さん1番)）

＜山口県農業試験場 企画普及部＞

〒753-0214 山口市大内御堀1419 TEL(083)927-0211 FAX(083)927-0214

URL <http://www.nourin.pref.yamaguchi.lg.jp/hp/kenkyu/nougyou/index.htm>

※皆さまからの御意見、御要望をお待ちしております。